

0810 | パッケージデザイン

2 単位 (通信授業 2 単位)

白尾隆太郎教授、福井政弘講師

授業の概要と目標

我々に最も身近なデザインの一つであるパッケージデザインは広範な知識と技能が常に要求されるデザイン分野である。それは、パッケージデザインが形態・意匠・材料・加工といった要素を多く含み、それらが複雑に作用し成立しているからである。また、パッケージデザインはその対象のほとんどを一般消費者としており、時代によって変化するニーズが常に反映されるものである。

この科目では、パッケージデザインの実際、パッケージの基本概念、パッケージの目的と機能、パッケージの構造デザイン、パッケージのグラフィックデザインを学ぶ中で「パッケージデザインとは何か」を理解していく。さらに現代社会での包装の意味、今日的課題でもある環境問題についても考えていき、パッケージデザインの基本的知識と製作感覚の両方を理解してもらうことを目標とする。

課題の概要

○通信授業課題

1. 自分の興味のあるパッケージを2つ購入して、それを観察、レポートしなさい。
 - ・パッケージを選んだ理由をそれぞれに述べ、そのパッケージが対象としている人（購買層）、内容物との関連性、価格との関連性、材質・形態・デザインとの関連性について分析する。
 - ・購入したパッケージはレポートに同封すること。
2. 身近にある『米』『あずき』『珈琲豆』『ジェリービーンズ』から一つを選び、包装してこぼれないようにして郵便で送りなさい。
 - ・サイズは、10センチメートル角の立方体。
 - ・材質は限定しない。

*課題については、学習指導書『パッケージデザイン 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

通信課題を行う過程で、以下の切り口を段階的に学んでゆくことが求められる。

- ・パッケージデザインの実際
- ・パッケージの基本概念
- ・パッケージの目的と機能
- ・パッケージの構造デザイン
- ・パッケージのグラフィックデザイン

成績評価の方法

提出された課題の評価の平均。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：白尾隆太郎監修、福井政弘＋菅木綿子著『パッケージデザインを学ぶ 基礎知識から実践まで』（武蔵野美術大学出版局 2014年）

学習指導書：『パッケージデザイン 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

参考文献：フミ・ササダ『CIKTMUPS パッケージデザインのすべて』（宣伝会議ビジネスブックス 2011年）

佐藤卓『デザインの解剖①＝ロッチェ・キシリトールガム』（美術出版社 2001年）

金子修也『パッケージ・デザイン―夜も地球もパッケージ』（鹿島出版会 1989年）